

1946  
2012  
2/1

# 府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人／橋口 紀塩 編集人／田中 克義  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

「教育基本条例」  
「職員基本条例」の  
制定を許さない府民集会  
2月22日(水)  
18時30分～  
中之島中央公会堂

# ひるげよう 憲法なくそう 「貧困と格差」



大企業は労働者の雇用とくらしを守る社会的役割を果たせ

2012年国民春闘がスタートしました。この間の新自由主義路線にもとづく悪政によって、非正規労働者を中心とした低賃金層が急増し、国民・労働者のくらしは深刻になっていっています。そうした中で「くらしを良くしてほしい」「何とかしてほしい」「政治を変えてほしい」との思いが強まっています。

しかし、野田政権は、国民・労働者のくらしを支えるどころか、TPPへの参加や消費税増税や年金の改悪、普天間基地の辺野古移転など、アメリカ言いなり、財界直結の政治を押し進めています。

また、日本経団連は、経営側の姿勢を示す「経営労働政策委員会報告(経労委報告)」を発表し、定期昇給の廃止・縮小やベースダウンを提案し、さらなる労働者の賃下げを狙っています。しかし、資本金10億円以上の大企業の内部留保は266兆円にのぼり、手持ち資金も64兆円とされています。大阪に本社のある大企業も、内部留保は24兆円

に達し、この一年間で経常利益を7千億も増やしながらい、身勝手な工場閉鎖や機能移転などで正社員を1方人も減らしています。

大企業がため込んだ内部留保を、賃上げや非正規労働者の正規化、中小企業の下請け単価の引上げ、震災復興に使うなど社会に還元すれば、国内の需要は高まり景気の回復に繋がります。

## 2012国民春闘

## つくる

### 働くルールをつくる署名に広がる共感

#### 府職労宣伝行動

府職労は、1月14日(土)11時から、南森町駅・天神橋筋商店街入り口で働くルール確立を求める宣伝・署名行動を34名で行いました。約1時間の行動で、102筆の署名が集まり、用意した350枚のビラも全てなくなりました。署名には高校生も含め幅広い層の方が協力してくれました。通年の取り組みとして、毎月第2土曜日に行います。次回は、2月11日に南森町での予定です。

### 大企業は社会的役割を果たせ!

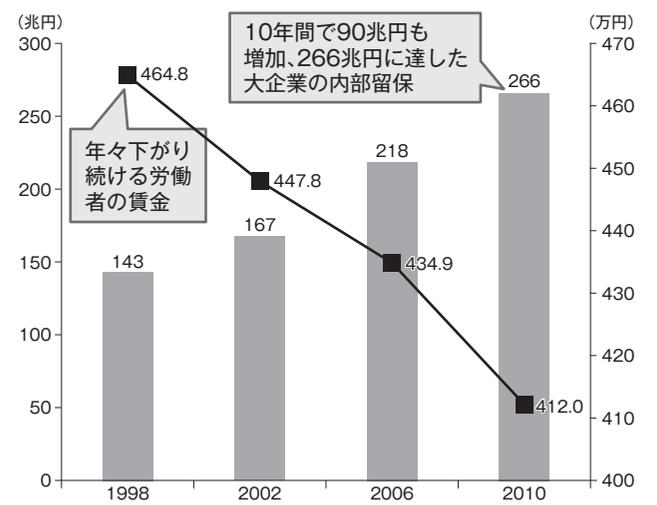
#### 1・17大阪春闘総行動

大阪春闘共闘・大阪労連は1月17日(火)に、「大企業の内部留保を社会的に還元し、労働者と地域経済に責任を果たせ」と経済団体等に要請・懇談を行うとともに、宣伝行動を行いました。大阪市内では、淀屋橋での早朝宣伝、宣伝カーやハンドマイク隊による宣伝、御堂筋などを走るデモ行進を行いました。府内各地でも宣伝が行われ、府職労から14名が参加し、のべ350名が行動しました。

東日本大震災・原発事故から約1年を迎えるもと取り組まれます。被災地を中心として自治体と住民の復興への努力が続いています。「安心してくらしを社会を」「原発ゼロ、核のない日本・世界を」という新たな社会的連帯行動が生まれています。今こそ、憲法をくらしのすみずみに活かす、新たな展望を切り開くことが重要です。最低賃金の時給1千円、正規労働者と非正規労働者の均等待遇の実現など

# 働くルール

### 大企業の内部留保と労働者の賃金の推移



## 遊歩道

2月3日は節分の日です。調べてみると「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、

立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に「節分」といえる春の節分を指すものとなったようです。▼立春を新年と考えれば、節分は大海日(あまのひ)に当たり、前年の邪気を祓うという意味をこめて、悪鬼・疫癘(えきり)を追い払う行事が行われており、その一つが「豆まき」です。▼この大阪では悪鬼の代わりに「独裁者」が暴れまわっています。これは「豆まき」ではどうしようもないですが、わたしたち労働者ひとりひとりが他の労働者や府民と共同すること、封じ込め、追い払うことができるのではないのでしょうか。▼昨年は東日本大震災など大変な年でした。震災復興、原発、消費税、TPPなど、問題は山積みです。いよいよ2012春闘もスタートし、社会全体の処遇の向上をめざすたにかいが重要で、貧困と格差の是正が焦点となっています。働く人が報われる社会の実現めざし、もうひとふんばりががんばっていきましょう。

(M)